

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんとそのご家族の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	外側深部眼窩減圧術後の眼球突出改善度と外直筋断面積の変化度との関係
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	眼形成・眼窩・涙道外科
研究責任者	准教授 高橋靖弘
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	外側深部眼窩減圧術は甲状腺眼症の眼球突出改善を目的として広く行われている術式です。外側深部眼窩減圧術後には 3mm 程度の眼球突出改善が得られますが、患者間でばらつきが大きいとされています。眼窩減圧術後には目を外に向ける筋肉である外直筋が腫れることが知られています。外直筋が腫れると、眼球突出は悪化しますので、外直筋の変化量は眼球突出改善度と負の相関があると考えられます。本研究は甲状腺眼症患者における外側深部眼窩減圧術後の眼球突出改善度と外直筋の断面積変化度との相関を調べることを目的としています。
対象となる患者さん	2016年1月から2019年1月までに、外側深部眼窩減圧術を受けた甲状腺眼症患者さん。
研究の方法	CT画像から外直筋の断面積を測定し、これが眼球突出と関連があるかを統計を用いて調べます。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2021年1月31日
研究に用いる試料・情報	情報：年齢、性別、術側、手術内容、眼球突出度 CT画像
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2020年12月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	なし
問い合わせ先	愛知医科大学病院

	<p>眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：准教授 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 12314）</p>
--	---